

2021-22 年度 岡田会長テーマ ～新しい友を作ろう～  
第 3047 回例会 令和 3 年 10 月 26 日(火) 天気:晴 No.9

2021-22 年度 RI テーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長 / 岡田光祥 幹事 / 大内基浩

クラブ会報委員 平岩博行 / 加藤浩道 / 山崎周彌

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <http://www.nishio-rotary.org>



### 【本日のプログラム】

司 会 本多 淳例会運営委員長 齊 唱 「奉仕の理想」  
スピーカー 画家 斎藤吾朗氏 「西尾からのおくりもの」  
ビジター (碧南RC) IM実行委員会 委員長 平岩統一郎君 IM実行委員会 幹事 長田豊治君

## 【会長エレクト挨拶】



斎藤吾朗先生は昔からお世話になっていて、私の長男も昔のアトリエの方で絵画教室に通わせて頂いておりました。懐かしく思います。

先だって、会長エレクトの研修会に行ってきたして、あんなに真面目にやっているとは思わず驚きました。6講座あり、ぴっちり受けました。他のクラブのエレクトが来ているので、非常に参考になります。ずっとクラブにいるとクラブのやり方が当たり前、普通になりますが、他のクラブの方と色々なことを話すと、こんなやり方・こんなトライをしているのだと

勉強になりますし、名古屋のクラブですと1つのクラブでは会員が減っていて、1つのクラブでは会員が増えているというような色々な話が出ます。会員拡大は大きなテーマですので、それぞれ話題に上がります。たまたま仲が良かった名古屋北ロータリーさんには会長就任前にメーキャップに行つてこようと思いますが、そこは結構状況が良くて、そういう風土を学んできたいと思います。講座の中で難しかったので職業奉仕で、この辺も再度勉強して皆さんに少しずつでも伝えることが出来たら良いと思っています。本当は3回あるそうですが、今年は1回コロナで延期になりましたので、2・3回目は合同になり2回で済むのでありがたいです。段々と年末に向けて、肩に重石が乗ってくる感じがしますが、年末の総会では組織図も承認いただけますので、いよいよ65周年に向かって活動していくのかと思います。



### 【IM お知らせ】(碧南RC)

IM実行委員会 委員長 平岩統一郎君  
IM実行委員会 幹事 長田豊治君

## 【委員会報告】

〈出席委員会〉岩瀬淳治委員長

本日の出席数 53名

10月5日のメイクアップ 14名

訂正出席率 100%

〈スマイルボックス委員会〉岩崎智一副委員長

(碧南RC) 平岩統一郎君 長田豊治君 本日はIMのPRに参りました。宜しくお願い申し上げます。

鳥山欽示君 IM実行委員会 委員長 平岩君、IM実行委員会 幹事 長田君ようこそ西尾RCへ。

斎藤吾朗先生ようこそ西尾RCへ。

大内基浩君 (碧南RC)IM実行委員会 委員長 平岩統一郎君、IM実行委員会 幹事 長田豊治君、本日はIM PR宜しくお願いします。

斎藤吾朗先生ようこそ西尾RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

山崎克弥君 碧南RC平岩君、長田君ようこそ西尾RCへ。IM応援しています。頑張ってください。

山崎周彌君 田中パストガバナーに大変お世話になりました。地方紙に記事が載りました。

**羽佐田芳和君** 第49回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の開票管理者を拝命しました。投票率アップにご協力をお願いします。

斎藤吾朗先生、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

**石川哲朗君** ゴルフ会長杯に誘って頂きました。有難う。浜名湖競艇で3連単のみ12レースまで買い続けたお裾分けのスマイルです。

**神谷 明君** 楽しい事がありました。

**榊原康正君** 斎藤吾朗先生、卓話楽しみにしています。全国唯一の「抹茶色ポスト」等、西尾市のイメージ向上にご尽力下さり有難うございます。いつまでもご活躍下さい。

**三浦康彦君** 斎藤吾朗様ようこそ西尾RCへ。西尾の自慢の歴史と文化を是非ご披露下さい。

**犬塚宣明君** 斎藤吾朗先生ようこそ西尾RCへ。いつもありがとうございます。

**高井英和君** 吾朗先生、卓話楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。

**岩崎智一君** 斎藤吾朗先生、本日は卓話よろしくお願ひ致します。



食事「小京都の湯」

## 〔卓話〕

画家 斎藤吾朗氏

「西尾からのおくりもの」



26歳の頃、ヨーロッパに絵の勉強に行き、リュックサックを背負って放浪をしていました。行く前に西尾市民病院の医者に、1年間パリに行くならおなかを切って行きなさいと言われ、痛くも無い盲腸を切って行きました。1973年12月から翌年の1月にかけてモナリザを模写しました。モナリザの表情は喜怒哀楽、色々な表情を持っており、日本でいえば能面のような顔です。これだけ豊かな表情を見せるのは身近な女性、ダ・ヴィンチの母なのではと思います。背景は故郷であるヴィンチ村の風景にそっくりで、モナリザは母と故郷を思って描かれた絵だと感じました。絵を描きにヨーロッパに行きましたが、最も身近な母と故郷を描くべきだというダ・ヴィンチからのメッセージを受け、自分の書くべきものは故郷・西尾と三河なのではないかと思い、故郷に帰って、まずおばあちゃんや父親、この辺のお祭を絵にしました。故郷・三河は描く物がいっぱい、ひたすら描いていました。ルーブル美術館とはその後ご縁で貸切りツアーを3回程やらせて頂きました。その時に西尾の抹茶を持って行って、ルーブル美術館でお茶会を開催し、ルーブルの関係者にお茶を振舞って宣伝してきました。ルーブル美術館には私が描いたモナリザを背負ったおばあちゃんの絵の版画が収蔵されています。

今年は吉良氏800年です。吉良家には吉良流礼法という武士の礼法があり、その礼法の中に折り紙があります。これを折っていくと折り鶴になり、吉良家が折り鶴を作ったのでは、と言われていています。そしてこの折り鶴を基に考えてハヤブサを作ったのが吉良家の血を継ぐ上杉邦憲さんです。ロマンと歴史を感じます。13年前に抹茶色ポストを作りました。その後、西尾高校美術部の子たちにバラの絵を描いてもらってバラ色ポストも作りました。郵便つながりで、今年吉良氏800年の記念に足利義氏とハツ面と雲母抗を描いた消印を作ってもらいました。ハツ面簡易郵便局の窓口で押してもらえます。

コンベンションホールに飾ってある絵は、西尾の海あり、山あり、日本一のうなぎ、薔薇、カーネーション、色々なものがバランス良くあって、足利義氏公、神谷伝兵衛さん、岩瀬弥助さん、中島董一郎さん、高橋瑞子さんなどの有名な方もたくさんいるということをコンベンションホールに来る方々に見て頂こうと思って描きました。絵という字は糸偏に会うと書きます。色々な糸を合わせるのが私の仕事だと思っています。ロータリーの歯車も色々なものを繋げていくという意味があると思っています。これからも西尾のメッセージを発信したいと思っています。

